

(1面から続き)

A woman with dark hair, wearing a black top, stands behind a wooden conference table, gesturing with her hands as she speaks. She is positioned between two men; one man is seated at the table with a laptop and papers, while another man is seated in a blue armchair to her left. The room has large windows with light-colored curtains and decorative elements like deer heads mounted on the wall.

よろしく
2022年度愛知県連新役目



【安原理事長】 【市橋副会長】 【難波副会長】

発表を行う筆者

本学会は後者の史研究者が集まり、ロシヤの貴重な音楽関連資料を紐解きながら、それらの研究の意義や成果を明らかにし、意見交換をする場である。全16組の発表者の中約3分の1はオンライン参加で、スペインとも中継がつながれた。筆者は、モスクワ各公文書館と日本各地の公文書館と日本古書店で手に入れた資料を織り交ぜながら、マックス・シャピーロは20世紀前半に日本で活動に注力し、我が国のクラシック音楽教育レベルを大きく引き上げた人物である。昨年秋にワルシャワで行われた第18回ショパン国際ピアノコンクールでは10

位入賞し、音楽業界のみした直後、それまでロシア語を師事していた愛知県立ならず日本全体にとって非常に明るい話題となつたこと。大学の半谷史郎先生から「おつかい」（＝資料のコピー）とは記憶に新しいが、この第3回大会（1937年）を日本へ発送する」を依頼され、モスクワで初めて参加したピアニストを育てたのもこのシャビーロだった。先が「ルガリ（＝ロシア公文書館の頭週間という短期間の準備ではあったが、ありがたいことに発表は上々の反響であった。茶けた資料を静かに、しかるところで、筆者と「apple」し鋭いみなざしで見つめるところ、「アーカイブ、公文書館」との縁の始まりは、ロシア留学の開始時にさかのぼることができる。20歳のぼることができる。20歳のぼる。その後しばらくして自分自身もそこに出入り17年の秋に実技留学のた

あの日見た研究者たち
「かっこいい」オーラで
見えるようになるまでは
まだ修行する必要がある
そうだ。

のえます。その最大の問題点ですね。今年の3月に名古屋大学の法学部の学生とサントペテルブルグ大学の法学部の学生で合同ゼミと申します。そこでその問題について議論するのをやったんです。そこには歴史、あるいは法的正義を纏め立脚して交渉する、そのために必要なのは国民が自由にその空間だとと思うんです。たために必要なのは国民が自由にその問題について議論できる空間だと思うんです。が、ロシアではすごく狭く、音楽締結は非常に厳しい状況に陥っています。これは問題なんだとはつきり言いましたし、ペテルブルグ大学の先生にどんな教科書を使って授業をやって、今後の展望なんですが、あんまり明るいことは言えません。科書を使つて授業をやって、いつでも、これまっているんですかと聞いたら、この8年間くらいの日ロ交渉の教科書はなかなか不十分だったり、遅れている部分もあつたり国民に対してもちゃんと説いて使えないから、自分たち

ピースステージ講演 「日露平和条約と2020年改憲」

一 戰爭・歴史・領土一

名古屋大学大学院法学研究科教授
佐藤史人

ちなみにブーチンは第二 態が進行していく、しかも 様なども入りましたが、こ 次世界大戦についてどう考 ロシア政府が擁護しようと れは明らかに平和条約を達 えているかということにつ していいる歴史の真実という 結することを困難にするた いて昨年6月に「偉大な勝 のはすごく一面的で古いわ 向にあると私は思います。 利から75年歴史と将来に対 けですね。ソ連が正しいと 鈴木宗男さんや佐藤優さ する共通の責任」というけ いう立場に貫かれています。 は、いや大丈夫だよと言ふ こう長い論文を公表してい ある意味、今中学生向けに ましたが、しかし実際にま ます。この論文ではルズギ 書かれてる歴史教科書の 自由に歴史認識について議 ンさんが問題にした第二次 方がよっぽどまともなこと 論できない、領土について 世界大戦の開戦理由はソ連 が書いてある。そういうふ 自由に意見が言えない状況 にある、あるいは1939 うに歴史をめぐる自由な議 がロシアでは進んでいて、

ちなみにブーチンは第二次世界大戦についてどう考
えていたかということについて、昨年6月に「偉大な勝利から75年歴史と将来に対する共通の責任」という長い論文を公表しています。この論文ではルズギンさんが問題にした第二次世界大戦の開戦理由はソ連にある、あるいは1939年秘密議定書にあるという見解を否定することにものすごく多くのページを割いています。

次世界大戦についてどう考
えていたかということについて、昨年6月に「偉大な勝利から75年歴史と将来に対する共通の責任」という長い論文を公表しています。この論文ではルズギンさんが問題にした第二次世界大戦の開戦理由はソ連にある、あるいは1939年秘密議定書にあるという見解を否定することにものすごく多くのページを割いています。

ロシア政府が擁護しようとしている歴史の真実という結することを困難にする方向にあります。向にすると私は思います。

はい、いや大丈夫だよと言いましたが、しかし実際にありました。ソ連が正しいと鈴木宗男さんや佐藤優さ
うがよっぽどまともなこと書かれていた歴史教科書の自由に歴史認識について議論できない、領土についても状況が書いてある。そういうふうに歴史をめぐる自由な議論がロシアでは進んでいて、その中で本当に大丈夫だよと言えるんだろうかといふ気がするわけですね。因

コロナ対応カンパ
(5月31日現在)

協力者数 124人
協力金額 1,156,822円
たくさんの方々からカンパを
お寄せいただき、ありがとうございました。